

てんかんとお薬の正しいつきあい方

～抗てんかん薬の使い方と困ったときの対応～

Q1 てんかんの薬は毎日飲む必要がありますか？

A はい、毎日決まった時間に飲むことが大切です。

てんかんの薬は、発作が起きたときだけ飲む薬ではありません。毎日続けることで、体の中の薬の量を安定させ、発作を起こりにくくします。

💡 発作がない＝治った、ではなく薬で発作が抑えられている状態かもしれません。
自己判断で中止したり、量を減らさないようにしましょう。

Q2 飲み忘れたらどうしたらいいですか？

A 気づいた時点で飲んでください。

次の服用タイミングと近い場合は、4時間以上の間隔が開くように時間をずらして飲んでください。



⚠ やってはいけないこと

2回分を一度に飲むこと

Q3 吐いてしまった場合は？

A 吐いたときの対応は、時間で変わります。

状況	対応の目安
飲んでから30分以内	もう一度同じ量を飲ませる (※ 粉薬の場合は不要)
飲んでから30分以上経過	基本的には追加で飲ませない
何度も吐く / 時間が不明	病院・薬局に相談する

※ 時間や対応はあくまで一般的なものです。その時の状況で判断が異なることがあります。事前に対応を確認するか病院へ相談しましょう。

Q4 座薬が出たしまった場合は？

A 出てきた時間と状態で変わります。

状況	対応の目安
15分以内に便と一緒に	同じ座薬か新しい座薬を入れる
15分以上経過し、半分以上溶けた状態	ある程度吸収されているため、入れ直す必要なし
30分以上経過	基本的には入れ直す必要なし

※事前に対応を確認するか病院へ相談しましょう。

Q5 よくある副作用には何がありますか？

A 全般的に眠気の副作用がありますが、1～2週間で慣れることがあります。

- 学校でぼーっとする
- 朝起きられない
- ふらつく



相談が必要な副作用

- 強い眠気、吐き気
- 皮膚症状
- 黄疸(白目や皮膚の黄色み)
- 気分の落ち込み、イライラなどの気分変動
- 体重増加

特に「皮膚症状」には要注意です

お薬を飲み始めてから発疹・赤み・かゆみが出たときは軽く見えても早めに医療機関に相談してください。



副作用が出たときの対応

- 1 すぐに様子を確認
いつから、どんな症状が、どのくらい続いているかメモをしておくで役立ちます。
- 2 自己判断で中止・減量しない
急にやめると発作が起きやすくなります。
- 3 医師・薬剤師に相談
具体的な対処法をお伝えしたり、必要に応じて検査や薬の調節を行います。
- 4 症状が強い場合は受診
左記の症状があるときは迷わず受診しましょう。



Q6 薬が苦手なときはどうすればいいですか？

A 飲みやすくする工夫があります。



ポイント

毎日飲むお薬なので、頼り過ぎないように、ご注意ください。



Q7 生活で気をつけることはありますか？

A 正しい生活習慣や、飲み合わせに注意が必要です。



⚠ 特に注意が必要なもの

- ☑ 市販薬 (風邪薬、花粉症の薬など)
- ☑ サプリ (セントジョーンズワートなど)
- ☑ グレープフルーツジュース

その他、お薬に関することや、妊娠を希望している、など不安なことがあればいつでもご相談ください。

